

1 実践の概要

タイトル	「 保育園、小・中学校、地区自治会合同避難訓練の実施 」について
概要	<p>登校時間帯の震度5の地震発生を想定した集団登校の体験。緊急メール・緊急連絡網の有意性の確認及び学校と保護者の連携の確認。</p> <p>期 日：平成25年5月29日（水）</p> <p>場 所：神代こども園・神代小学校・神代中学校及び通学路</p> <p>時間帯：7：30～10：30</p> <p>参加者：神代こども園（園児130名、職員27名）、神代小学校（児童205名、職員18名）神代中学校（生徒86名、職員16名）</p>

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ 4/30、5/8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼、小、中の代表者及び仙北市役所環境防災課危機管理監 <p>2 防災訓練当日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 7:30 震度5の地震発生（防災無線放送で周知） 2) 7:50 保護者に緊急メール 3) 9:00 神代小学校体育館に集合 4) 防災訓練集会 5) 各学校で振り返り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仙北市役所の環境防災課危機管理監からアドバイスをいただきながら実施。 ○ 地域の防災無線を活用させていただいた。 ○ 自宅にいる、通学途中、学校に登校完了のそれぞれの状況で対応していただいた。 ○ 緊急メールのアンケート機能を活用し、子どもが家を出たのか、家にいる状態なのかを確認した。 ○ 防災訓練集会で防災危機管理監から、園児にも分かるような「おはなし」をDVD「津波だ！いなむらの火をけすな」を通して話していただいた。 <p>● 各校、危機管理監、防災無線との連絡調整及び、原案作り。</p>

連携先	団体名・組織名	連携の内容
学校・教育関係・同窓会等	<ul style="list-style-type: none"> ・神代こども園 ・神代小学校 ・神代中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練事前打ち合わせ ・当日の避難対応係分担
保護者・PTA関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急メール対応
地域組織	<ul style="list-style-type: none"> ・神代地区住民 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に防災無線を使って訓練することを周知
国・地方公共団体・公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市環境防災課 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線活用 ・危機管理監の協力（自衛隊<当日>）

3 成果と課題

<p>成 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校以外で災害にあったときの訓練になり、生徒・保護者の防災意識が高まった。 2 年長者が年少者を導くことによって、状況に合わせて判断し行動する訓練になった。 3 緊急メールの活用練習になった。 4 市環境防災課危機管理監と連携することにより、訓練の目的を明確にすることができた。
<p>課 題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 神代中学校内の防災無線の正常化。(防災無線を受信できない) 2 発電機の完備。(停電時トイレ、暖房等使用できない) 3 保護者の緊急メール登録の徹底。(79軒中15軒未登録…電話、家庭訪問で対応) 4 立案の段階での、職員の十分な共通理解を図るための時間の確保。
<p>今後の継続予定</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 詳細は未定だが、何らかの形で引き続き合同での防災訓練を予定している。(早い段階での、職員の十分な共通理解を図るための時間を確保したい。) 2 市環境防災課、危機管理監と連携して進めていきたい。



防災訓練集会での幼児、児童、生徒の感想発表



防災無線を聞き入る生徒



防災訓練集会で危機管理監の話聞く児童生徒